

JIS A 6909 対応下塗り材



JIS A 6909



JPIA	建築用仕上塗材
JP040811	可とう形改修塗材E
JIS A 6909	製造者 S F H

アクリル系微弾性下地調整塗材

リフレッシュフィラー

REFRESH FILLER

特殊アクリル樹脂を使用し、付着性および既存塗膜の軽微なひび割れへの充填性等に効果を発揮する1液型の微弾性下地調整塗材

用途

- 各種仕上げ材の塗り替え時の下地調整、模様付け
＜適合旧塗膜＞樹脂リシン、樹脂系スタッコ、吹付けタイル、単層弾性塗膜
- 無塗装のコンクリート・モルタル面、ALCパネルの塗装時の下地調整、模様付け
※窯業系サイディングボードには施工できません。

特長

- 下地の軽微なひび割れ等への充填性に優れ、付着性を向上させます。
- 可とう性を有していますので、各種既存塗膜の下地調整に適しています。
- ローラーパターンを変えることで、多彩な意匠性を表現できます。
- シーラー機能とフィラー機能の両方を兼ね備えているため、工程・工期の短縮ができ、経済的です。
- JIS A 6909を認証取得しています。

適合上塗り材

＜水系＞ナノコンポジットF、^{※1} ナノシリコンW、

＜溶剤系＞パワーシリコンMX、マイルドSi、マイルドU

※1 JIS仕様が求められる場合は、リフレッシュフィラーをご使用ください。通常はナノコンポジットフィラーNをご使用ください。

塗装仕様

上塗りにナノシリコンWを使用する場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	(塗り替えの場合) 付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 活膜を残し、膨れ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は周辺部分を含め除去する。 (新規塗膜の場合) モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下、pH10以下に管理する。 欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
中塗り	リフレッシュフィラー 16kg	0.2～0.5kg (希釈水)	砂骨ローラー	1	0.8～1.5	11～20	—	8h以上	—
		0.8～1.6kg (希釈水)	中毛ウールローラー		0.3～0.5	32～53			
上塗り	ナノシリコンW 15kg	0.4～1.5kg (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12～0.16	47～62	2h以上	—	24h以上

※下地のテクスチャーパターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※旧塗膜の劣化が著しい場合は、下塗りに水系Wシーラーを塗装してください。

荷姿

リフレッシュフィラー 16kg

注意事項

※上塗り塗料については、別製品カタログをご参照ください。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などに当たると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
5. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
6. 酸洗を行う場合は、水をかけた後にその後の水洗は念入りに行ってください。
7. 1回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きく、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装してください。(合計3回塗りで仕上げてください)
8. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
9. 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
10. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
11. 排水溝には捨てないでください。
12. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
13. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
14. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. ご使用前には充分攪拌してください。
2. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
3. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
4. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151

東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2008